

教科	教科の課題 生徒の実態	具体的な授業改善策 補足的、発展的な改善内容
国語	国語に対する関心・意欲は高いが、自身の課題を把握し、改善しようと実践する姿勢に課題がみられる。	教科書を基本とした、その他の教材の工夫 補:分野毎における基本的な学習方法を説明する。 発:教科書以外の資料を活用した授業を実施する。
社会	既習事項についての知識が比較的定着している。 社会的事象について、多面的・多角的に思考し、的確に表現することに課題がある。	社会的事象への思考力・表現力を育成する授業の工夫 補:例を示し、具体的な表現の仕方を理解させる。 発:多面的・多角的な視点をもって思考させる。
数学	前向きに取り組もうとする生徒が多いが、集中力が切れることがある。 授業内ではできるが、定着できていないことがある。	基礎学力の定着と応用力の向上 補:宿題や小テストなどで学力の定着を図る。 発:既習内容を活用し、考え方に広がりをもたせる。
理科	授業への取り組みはとても良いが、家庭学習の量が少ない。	定着に応じた課題を用意する。 補:1・2年生の復習課題を家庭学習として行わせる。 発:入試問題を多く取り入れ問題慣れと考える力を育てる。
音楽	上達への意識が高く、教え合いなどの活動も取り組める。 テスト勉強は、3分の1の生徒が5教科優先になっている。	まとめプリントなどで、テストに気持ちが向けられるようにする。 補:吹奏楽の補習を検討する。 発:音色の追求、音程など細かい課題に目を向けさせる。
美術	授業に意欲的に取り組んでいる。授業時間内の作品の質を更に向上させる。	作業手順を減らし、授業課題のブラッシュアップをする。課題を減らす。 補:時間が足りない生徒には、昼休みや放課後に指導を行う。 発:個人に合わせた、レベルアップできる助言をする。
保健体育	体力の差が顕著に表れてきている。	習熟度別に課題を設けて運動に取り組ませる。 補:示範を何度も見せるなど丁寧に指導する。 発:教え合いをすることで自らの技能の向上につなげる。
技術	実習授業に意欲的に取り組んでいる。 生活における活用方法を身につけ、さらなる発展を目指す。	生活において活用しようとする態度を養う。 補:実習授業の内容をレポート課題としてまとめさせる。 発:実生活での活用を紹介する。
家庭	期末考査等をきっかけに知識・理解の定着が図られている生徒とそうでない生徒の差がある。	ワークシートを振り返りやすいものにする。 補:普段の授業の中で、前時の復習をする。 発:授業中に大切な部分をメモさせる習慣を身につけさせる指導をする。
英語	意欲的ではあるが、既習内容を用いて応用する能力が不足している。基礎学力の定着を図り、個々に必要な能力を身に付ける。	授業内で繰り返し復習を行い、基礎の定着を図る。 補:プリントで復習。 発:習得した知識を用いて、英語で表現する機会を多くし、活用する場を与える。